

沖縄新基地
V字形滑走路

緊急時は「どういう方向からでも 着陸はありえる」

日本共産党・赤嶺議員の
追及に政府認める



地元には「緊急時」の説明なし 住宅上空飛行は必至、地元との合意くずれ

日本共産党・赤嶺政賢衆院議員は、11月7日の衆院安全保障委員会、米軍再編による沖縄・名護市に建設を計画するV字形滑走路問題について政府を追及。PAC3（パトリオット）配備問題で防衛庁長官の「沖縄の人は感謝してほしい」という発言について抗議しました。以下、質問の主な要旨です。



V字形滑走路
で双方向の
進入・着陸

●久間章生防衛庁長官
昨日の報道で、滑走路の両端の計四カ所に進入灯を設置することを米側が求めているとある。どこからでも着陸でき、離陸用、着陸用とやってきた説明が覆るがどうか。

●久間章生防衛庁長官
V字形でやるということとは、その上は飛ばないということだ。

●赤嶺政賢衆院議員
報道では、守屋事務次官が、緊急時には着陸用、離陸用、いろいろな形での着陸がありえる、緊急時には認めざるをえないと発言

●北原巖男防衛施設庁長官
地元説明は通常の運用を念頭に飛ばないということ。（緊急時については）地元首長には話をしていない。

●久間章生防衛庁長官
人命がかかわるときは、どういう方向からでも着陸することはありえる。

●赤嶺政賢衆院議員
緊急時は使うということとを、名護市と宜野座村に説明はしていないのでは。

「間違ったことは言っていない」と反省なし PAC3配備「沖縄は喜べ」——久間防衛庁長官発言

●赤嶺政賢衆院議員

10月26日に「幸いにも米軍がPAC3を置いてくれた。沖縄の人は喜んでほしい」と久間長官は述べた。この発言に、関係自治体の首長から「感謝する人はいない」「県民感情無視だ」と反発の声がある。今でも正しいとの認識か。

たことは言っていない。

●赤嶺政賢衆院議員

米軍基地に脅える県民の感情を愚弄するもの。防衛的というものは基地をまもるもの。（搬入で）車列を組んでPAC3が公道を展開するのを見せられて喜べというのか。

●久間章生防衛庁長官
六百人、家族が九百人増員されます。兵隊が増え、家族が増え、県民はどんな感情を抱くと思うのか。

●久間章生防衛庁長官
アメリカが責任を持って防衛しましょうとやってくれたことは歓迎すべき。

●久間章生防衛庁長官

PAC3は純粹に防衛的な装置。万一ミサイルが撃ち込まれたとき、防がれたら「ああ、あのときあつてくれて良かった」と思ってくれる。『けしからん』というのはいかがか。間違っ

●久間章生防衛庁長官

おどろおどろ感じる人がいるかもしれないが、ある種の安全性も確保される。何で不安なのかわからない。

●赤嶺政賢衆院議員

ミサイル配備で兵員が

参議院比例（中国、四国、九州・沖縄）



元衆院議員
春名なおあき

参議院比例代表選挙は「日本共産党」と政党名で
（政党名でも個人名でも書くことができます）